

うじたわら町 No. **58号** **議会だより** *Ujitawara Town Council Information* **2009.2**



次代を担う若人

●目次(CONTENTS)

●臨時会	2P
●12月定例会.....	4P
●一般質問	6P
●12人からのひとことメッセージ.....	13P
●インタビュー・編集後記	14P

2009年2月1日(日)発行

発行 ● 宇治田原町議会
 編集 ● 議会広報編集委員会
 京都府綴喜郡宇治田原町荒木
 西出10(〒610-0289)
 TEL.(0774)88-2250(代表)
 (0774)88-6641(直通)
 FAX.(0774)88-6617
 メールアドレス gikai@town.ujitawara.kyoto.jp



成 決 ま る

第1回 臨時会

臨時会

平成20年第1回臨時会は、11月17日に招集され、会期を1日とした。議員選挙後初めての議会で、議長・副議長・常任委員会など、議会の構成が決まった。その他、人事案件1件が提出され、同意した。



監査委員
垣内 秋弘



副議長
青山 美義



議 長
西谷 信夫

委員会名	職 名	氏 名	住 所
総務産業常任委員会	委 員 長	今西久美子	郷之口
	副 委 員 長	原田 周一	緑苑坂
	委 員	田中 修	郷之口
	委 員	弦川 孝治	奥山田
	委 員	垣内 秋弘	立 川
文教厚生常任委員会	委 員 長	上林 昌三	銘城台
	副 委 員 長	森山 高広	南
	委 員	青山 美義	湯屋谷
	委 員	安本 修	立 川
	委 員	森田 木一	南
	委 員	下岡 周之	立 川

臨時会



議会運営委員会

委員長 青山 美義

副委員長 垣内 秋弘

委員 今西 久美子

委員 弦川 孝治

委員 上林 昌三

広報編集委員会

委員長 垣内 秋弘

副委員長 田中 修

委員 原田 周一

委員 安本 修

委員 今西 久美子

委員 森山 高広

人事案件

○教育委員会委員の任命同意

氏名 内田 一孝 氏(郷之口)



任期 平成20年11月26日～平成24年11月25日

【同意 全員賛成】

職名	氏名
城南市町村税滞納整理組合議会議員	田中 修
城南衛生管理組合議会議員	原田 周一
	上林 昌三
京都府後期高齢者医療広域連合議会議員	青山 美義



改修中の維孝館中学校体育館

請負契約の変更

○維孝館中学校体育館改修工事

建築後20年が経過する維孝館中学校の体育館は、現在、安全性の確保、教育環境の充実を図るため、改修工事を行っている。請負契約は、平成20年9月5日に「(株)大安組」と4872万円で締結したが外部改修の追加工事により、請負金額を変更し、5131万3500円とするもの。

【可決 全員賛成】

平成20年第4回定例会は、12月10日に招集され、19日に閉会した。補正予算6件、条例改正1件、請負契約(変更)1件、人事案件2件のほか、自治功労者の表彰1件が提出され、いずれも原案通り可決、同意した。「維孝館中学校の新1年生と新2年生を少人数学級にすることを求める請願」は、文教厚生常任委員会に付託し、継続審査とした。一般質問には新人議員3人を含む7人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

平成20年度 補正した予算

今回の補正は、人事異動等に伴う人件費の調整のほか、安心実現のため早急に対応する必要がある事業を中心に補正するもので、補正額は次のとおり。(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の総額	
一般会計(第2号)	2,021万円	39億 481万円	可決 全員賛成
国保会計(第3号)	2,399万円	10億 2,762万円	可決 全員賛成
介護保険会計(第2号)	7万円	5億 8,588万円	可決 全員賛成
後期高齢者医療会計(第1号)	372万円	9,590万円	可決 賛成8:反対3
公共下水道会計(第2号)	301万円	6億 4,245万円	可決 全員賛成
水道会計(第1号)	収益的収入	△640万円	2億 725万円
	収益的支出	△326万円	2億 183万円
	資本的収入	△55万円	1億 5,244万円
	資本的支出	△82万円	4,088万円
			可決 全員賛成

改正した条例

○国民健康保険条例

産科医の不足などを改善するため、平成21年1月1日から産科医療補償制度が創設されることとなり、制度の掛金3万円の自己負担金が必要なことから、出産育児一時金を、3万円を上限として引き上げるもの。

【可決 全員賛成】

後期高齢者医療会計補正予算に対する討論

反対

小手先の見直しのたびに改修費が必要となる。廃止を

(今西 久美子 議員)

「後期高齢者医療制度」は、高齢者を75歳という年齢で差別し、受けられる医療の内容を制限する、許せない制度であり、存続すればするほど、過酷な痛みを押し付け苦しめる。今回の補正予算には、保険料の軽減対策にかかるシステム改修費が計上されているが、制度が始まって1年も経たないうちに改正しなければならぬ欠陥だらけの制度であり、小手先の「見直し」のたびに改修費が必要となるようでは困る。制度の廃止を求め反対とする。

自治功労者の表彰

12年間の長きにわたり、町議会議員として町発展のために尽力された次の3の方が、自治功労者として表彰されました。

氏名 安井 サダ 氏



氏名 西川 芳次 氏



氏名 下岡 貴史 氏



【同意 全員賛成】

人事案件

○公平委員会委員の選任同意

氏名 藤永 弥 氏 (禅定寺)



氏名 谷川 利明 氏 (奥山田)



任期 平成20年12月22日～平成24年12月21日

○教育委員会委員の任命同意

氏名 佐藤 美樹 氏 (岩山)



任期 平成20年12月21日～平成24年12月20日

【同意 全員賛成】

意見書

○後期高齢者医療制度の廃止を求める

本年4月1日から「後期高齢者医療制度」がはじまった。この制度は、医療費を削ることに重点を置き、保険料を年金から天引きする一方、高齢者が十分な医療を受けにくくなるのが強く懸念されてきた。75歳以上の高齢者を年齢で区切る合理的理由はなく、低所得層において保険料負担が高くなったり、保険料の伸び率が現役世代よりも高くなる仕組みである等、様々な問題点がある。国民の高齢期における適切な医療を確保し、国民が安心して安定した暮らしを営むためには、すべての国民の尊厳が尊重される医療制度でなければならない。国および政府関係機関は、誰もが安心して医療が受けられるように、国の責任を明記した憲法25条の立場に立って、下記の事項の実現をはかるよう強く要望する。

1. 後期高齢者医療制度はただちに中止し、廃止すること。
2. 医療に伴う国の予算を増額し、高齢者をはじめ、国民が安心して医療がうけられるよう努めること。

【否決 賛成2…反対9】

「奥田町長」 3選出馬に向け決心を

【答】住民の皆さんの期待に応え、決意を固めた



垣内 秋弘
議員

しつつ、多くの住民の皆

平成21年度予算編成の考え方と 今後の財政見通しは

【答】限られた財源の
効果的・効率的な活用を図る

様方から賜っている熱い要請と大きな期待に応えるため、邁進してまいりたい。決意を固めさせていただいた。

で、半減する見込み。21年度予算編成に向けては、自主・自立の財政基盤の確立をめざし、限られた財源の効率的な活用を図り、まちの活力を生み出し、次代を切り開く糧となる施策、企業誘致や国道・町道等のインフラの充実、未来の宇治田原を背負う子ども育成などにも積極的に取り組む。財政見通しは引き続き財政改革に取組み平成22年度で財政調整基金残高は9億3700万円の見込み。

行政評価システム導入拡大で さらなる改革を

【答】順次、事務事業の評価を実施する

支の均衡を図ること」の達成を主目的とした調査の作成と評価を実施し、次年度以降の予算協議につなげ、具体的な事業の方向性をつけていく。

【質問】

本町を取り巻く情勢は厳しさを増す中、大過なく町政を進められたことは、豊富な経験と自らの手腕を発揮され邁進された結果である。この厳しい時代、無難に舵取りを任せられるのは奥田町長が適任であり、住民からの期待も大きい。過去2期8年間における実績を基に、今後本格的に進んでくる地方分権時代に、引き続き舵取りを担っていただきたいが、町長の率直な考えは。また、公約の点検と評価及び総括を。

では、激動といえる荒波の中を進んできた。特に平成16年度からの三位一体改革では、地方交付税が大幅に縮減され、財政状況が急激に悪化した中で、山田京都府政と連携し安心・安全なまちづくり、住民対話で協働してのまちづくり、自主・自立可能なまちづくりを基本姿勢に、活力と魅力のある宇治田原町の基盤づくりにより心血を注いできた。具体的には福祉の充実、子育て支援、教育施設の充実、環境保全計画の推進と実行、集団茶園整備、企業誘致、新市街地の整備、消防関係の充実、経済不況対策、住民の自主活動支援、安心・安全なまちづくり施策などに取り組んだ。この時機にあたり、私に与えられた責任の重大さを実感



【答 弁 (町長)】

平成12年4月に地方分権一括法が施行されて以降、地方自治体にとつ

【答 弁 (副町長)】

平成16年度以降、財政収支は均衡が取れなくなってきたおり、平成19年度に中期目標をたて、「平成22年度において財政収支の均衡を図ること」を具体的目標として

【質問】

今年度の進捗と、すべての事務事業に導入される時期は。

【答 弁 (行革推進室長)】

町財政の中期目標である「平成22年度に財政収

新名神高速道路の進展は

【答】宇治田原町の将来の発展は

新名神インターチェンジが必要不可欠

【質問】

新名神高速道路は、本年2月に亀山・大津間が開通した。抜本的見直し区間である大津・城陽間はいまだ結論が出ていない。現在どのような進捗状況であるか。また、今後どうなるのか。

【答 弁 (副町長)】

抜本の見直し区間は主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めてその着工を判断することとして、事実上結論の先送りがされた状況。事業が必要である区間とされることが先決であり、このためには行政のみならず地元商工業団体なども連携を密にしながら、新名

神高速道路の必要性を訴えているのが現状。

【質問】

宇治田原町の将来、町の活性化においては、新名神宇治田原インターチェンジが必要不可欠。自主自立の財源基盤の確

立のための企業誘致や、国道307号の渋滞解消、山手幹線の早期実現

のためにも、絶対に必要不可欠である。道路財源の一般財源化の議論があるが、それを乗り越えて、抜本の見直し区間である



森田 木 一
議員

大津・城陽間の早期実現についての考えは。

【答 弁 (町長)】

平成22年の春、第2京阪が全線開通すること、一つの大きな節目であり、その時点において周辺道路のネットワーク整備状況、交通量、交通の

流れを見極めていくことになる。新名神のインターチェンジ関連道路として都市計画道路(中央線・下町線・山手線)を

特例決定している。インターチェンジの着手を契機に一気に整備が図られる。新名神インターチェンジを活かした「まちづくり」が宇治田原町の将来の発展につながる。

町長の政治姿勢について

3選出馬はあるのか

【答】ふるさと宇治田原発展のために

3選出馬の決意を固めた

【質問】

平成13年2月、第13代宇治田原町長に就任された。今日まで8年間、宇治田原町発展のため、数々の施策を精力的に打ち出し、住民福祉の向上や安心・安全な宇治田原町政を進めてこられた。

初めて町長選挙に立候補された時の熱い思い、

初心に立ち返り、三度町長選挙への決意を今さらではどうか。

【答 弁 (町長)】

宇治田原町長に就任させていただいて早いもので2期目の任期もあと2

カ月弱となった。地方自治体を取り巻く環境は、年々その厳しさが深まってきた。このような中、一つには、平成22年度における歳入歳出差引収支をゼロとする、赤字体質から脱却した持続可能な財政基盤を確立すること、二つには、第4次総合計画に掲げる新市街地の土地利用を推進すること。この2大プロジェクトの実現をめざし、宇治田原の次代を切りひらいていくことに道筋をつけることが私に与えられた最大の責務だと思。今一度初心に立ち返って、ふるさと宇治田原の発展のために3選出馬をめざす決意を固めさせていただきます。



新名神の早期実現を

高校生通学費補助の増額を

【答】 運賃の改定状況を見きわめ、検討する

【質問】

高校生の通学定期代は、年間10万〜16万円もかかり、保護者の負担は大きい。バス代値上げの新聞報道もあった。通学費補助の増額を。

【答 弁（教育次長）】

通学費補助金は、現在

朝のバスの増便を

月額2,300円として
いる。バス事業者の運賃の改定状況を見きわめ検討する。

【質問】

平日、特に朝7時前後のバスは通学の学生が
いっぱい、増便してほしいとの声

中学校での少人数学級実施を

【答】 よりよい方向で検討する

【質問】

来年度の中1は1クラスが40人近いクラス、中2も少人数学級は

今年度限りという説明があり、保護者の不安は大きい。4学級にしてほしいという要望は切実である。先生の目が行き届き、落ち着いた環境で中学校



今西久美子
議員

生活が送れるよう4学級にすべきと考えるが、町教委の考えは。

介護保険の負担が増えないよう全力を

【答】 制度自体の見直しが必要

【質問】

来年からの65歳以上の介護保険料はどうなるのか。また保険料、利用料の町独自の軽減策は。

【答 弁（生活支援課長）】

第1号被保険者の保険料は引き上げざるを得ない状況である。保険料は、8段階に区分し、低所得者に配慮している。高齢者を対象とした二一ズに即した福祉サービスを充実させていきたいと考えている。

【答 弁（教育次長）】

現段階で方向性を明確に示すことは困難。今後、学校現場との協議を重ね、生徒にとつても、学校運営上も、よりよい方向を検討していく。

【質問】

保険料負担がふえないように、また、介護が必要

子宮がん検診の毎年実施を

【答】 死亡率の減少効果は変わらない

【質問】

毎年実施されていた子宮がん検診が今年から2年に1度となった。子宮がんは早期に発見・治療すれば、治療率は低くない。早期発見・早期治療のために毎年実施を。

【答 弁（健康長寿課長）】

最近のがん研究の結果、検診を毎年受診した場合と、2〜3年に1回受診した場合、子宮がんの死亡率の減少効果が変わらないため、2年に1度とした。



学生でいっぱいの通学バス

広がる有害鳥獣の

被害に防止策を

【答】産業振興課職員一丸となって対応する



田中 修
議員

【質問】

近年の郷之口地区での有害鳥獣による農作物への被害と集団茶園造成との因果関係があるのか。

今年度の有害鳥獣被害防止対策費が61万円、有害鳥獣駆除費が62万円、この予算で効果的な対策ができるのか。また被害

が年間を通じて全町に及んでいる状況で専任職員の配置や専門組織を設ける考えはないのか。

【答】 弁(産業振興課長)

集団茶園は、郷之口生

産森林組合所有の山林を造成しているが、因果関係は全くないとは言えないと思っている。集団茶園造成事業地をふくむくつわ池自然公園を中心とした115ヘクタール



ネットで被害を防止

については、平成8年度から末山鳥獣保護区として指定されており、イノシシ、シカの数量も増加しているものと考えられる。有害鳥獣被害防止対策事業費については、狩猟免許取得助成等を計上して、現在2名の方が

狩猟免許取得試験に合格し、今後地域の有害駆除に活動していただくということになっている。また有害駆除費については、猟友会宇治田原支部に有害鳥獣捕獲業務委託料として、特別駆除等の

業務をお願いしている。野猿については、全町的に被害対策に取り組み、町と地域が連携を密にし、京都府の指導を受けながら地域に即した対応を行っていく。専任職員の設置はしないが産業振興課職員一丸となり対応していく。

町道郷之口岩山線の安全対策を

【答】安心なまちをめざして取り組んでいく

【質問】

国道307号の朝夕の渋滞に伴い、生活道路でもある郷之口下町バス停から岩山までの間の通過車両の数は、すさまじい台数である。通過車両の進入防止、進入台数の削減対策を。また、横断歩道の増設を。

【答】 弁(総務課長)

毎月1回、職員により交通安全の日を設け、啓発活動の実施をしている。

交通量調査では午前7時30分からの1時間平均で、役場前(東行き)700台、国道307号役場南(東行き)700台



すさまじい通過車両の町道郷之口岩山線

の通過車両があり、合わせて1,400台の車両が通過している。本年3月に関係機関(京都府、田辺警察署、町)による検討会を設置し、安全対策について協議を行っている。国道307号の信号機の連動・調整などを実施し、さらに感知式信号機を4カ所設置した結果、以前に比べ国道307号の渋滞が緩和し、スムーズに流れるようになった。また、横断歩道の設置は今後、田辺警察署に要望していく。

緑苑坂通学路に ガードレールの設置を

【答】現状を調査し、検討していく

【質問】

緑苑坂地区では、宇治田原山手線の西側歩道を

通学路として利用している。テクノパーク工場進出により、交通量が増加しており、急勾配とカーブで危険である。通学路

における安全指導及び安全柵などの設置基準は。

【答 弁 (建設課長)】

緑苑坂へ通じる宇治田原山手線は、車道と歩道に段差をつける構造のため、防護柵を設置する必要はないが、全国で児童



ガードレールの設置を



原田周一
議員

や園児が犠牲になる事故が発生しているため、現状を調査し、検討していきたい。交通安全指導については、毎年交通安全教室を開催している。また、新1年生の下校時、教師が同行指導を行っている。

町道丸山湯船線を 一方通行に

【質問】

緑苑坂より113名、丸山湯船線合流地点では、湯屋谷地区の児童も

合流し、通学路として利用しているが、過去にも取り上げられた問題であり、児童が増えた今日まで、できていない理由は何か。

【答 弁 (総務課長)】

警察・交通安全指導員、父兄などの連名チラシなどで啓発活動を行ない、通行量が減少した。解決策としては時間帯による車両進入禁止、または一方通行規制が有効であり、関係機関と協議していく。

緑苑坂に福祉バスの乗り入れを

【答】今後の検討課題である

【質問】

緑苑坂は現在240世帯、約800人が生活している。若い人が多い

にとつて陸の孤島であるため、足の確保としてのバスの乗り入れはできないか。

【答 弁 (行革推進室長)】

福祉バスの運行経路は、民営バス及びコミュニティバスの運行経路と重複しない事が基本である。

上水道の検査回数を増やせないか

【答】異常があれば臨時の検査も実施する

【質問】

本町では、奥山田・高尾地区が、川からの表流水、その他の地区が地下水である。毎日検査が3項目、月1回の検査が9項目、年3回の検査が20項目、年1回の検査が50項目となっている。立川浄水場エリア内には、有機溶媒及び塩素系の薬品を使用している企業が多く立地されている。薬品の地下水への浸透はないのか。年1回の検査回数

を増やせないか。

【答 弁 (水道課長)】

過去3年間以上、水質基準値の10分の1以下の結果である。企業立地に伴って、都市計画課での開発指導、保険環境課での環境保全協定の締結、水道課での水質監視などで、清浄な水道水の安定供給に取り組んでいる。異常があると判断される場合は、臨時の検査を実施して監視に努める。

宇治田原町の リスクマネジメントは

【答】 持続可能な財政基盤の確立が
最大のリスク管理と認識



森山高広
議員

【質問】

世界中の経済が悪化している現在、宇治田原町の代表的なハザード、ペリル、リスクとはどのようなものであると認識されているのか。またそのリスクマップはどうなっているのか。それらに対して現在どのようなリスクコントロールがなされているか、またはされる予定か。

【答弁（財政課長）】

本町のまちづくりに影響を与える要素としては、景気の悪化に伴う町税の減少（特に法人税）、三位一体の改革による地方交付税の縮減（本町では3億円を超える影響）、東海・東南海地震による

自然災害、新型インフルエンザによる健康被害、少子高齢化の進展による社会福祉経費の増加など多岐にわたる。そこで、本町では、「第4次まちづくり総合計画」を策定し、自立したまちづくりに取り組み中だが、住民の安心安全の確保は、政策課題。とりわけ、将来にわたって持続可能な財政基盤を確立することが、最大のリスク管理として認識。リスク分析、リスクマップ作成、リスクコントロールに相当することとは、現在、宇治田原町では行われていないが、民間の取り組みを研究してみたい。

グローバル化時代の教育は

【答】 相違点はない
現在の教育で対応可能

【質問】

世界はインターナショナル時代から、グローバル化時代になり、その傾向はますます進行している。そのため、若い世代、例えば現在の小中学生の世代は、一層グローバル化に対応することが求められると予想される。そこで、グローバル化時代に適した教育と現在の教育において相違点はあるのか。相違点があるとしたら、それはどのようなもので、現在の教育の枠

【答 弁（教育次長）】

内での対応は可能か。グローバル化時代とは、自分が生活している国の文化を意識して、個性を保ちながら、他の国の文化に対しても認め、尊重することと考える。グローバル化時代の教育においては、柔軟な対応が可能なシステム作りが不可欠であると考え。そこで、本町の教育指導として、国際社会に生きる者の育成として「社会の変化に対応する教育の

解 説

リスク (RISK) とは何らかの事態（損害）が起こることに関する不確実性のこと。リスクは「危険」と訳されているが、同じ意味ではない。リスクが高いとは、不確実性が高い、つまり、将来の予想がしにくいことであり、リスクが低いとは、不確実性が低い、つまり将来の予想がしやすいこと。（例・山林消失）

ペリル (PERIL) とは、損害を起こす可能性のある出来事のこと。（例・山火事）

ハザード (HAZARD) とは、ペリルから損害を発生させる状況のこと。一般的に、ハザードが小さくなれば、リスクも同時に小さくなる。（例・空気の乾燥）

※一般的に、リスクの大きさは「望まない出来事の発生する確率」と「発生時の被害の大きさ」の2つで決まる（リスクマップで表示）。リスクが一定以上の大きになると、リスクコントロールを行う。リスクコントロールには、回避、軽減、転嫁、許容の4つがある。

推進」を掲げている。例えば、自然と人間の調和をめざす環境教育の推進を図るとともに、国際理解教育、情報教育を行い、現代社会に主体的に対応できる資質や能力を育成することを目標としている。また、宇治田原の自然・環境・風土などを直に感じ、体験・学習することもある。これも大切であると考え。現在の学習指導要領の中で取り組むべき内容については目標を持って実施し、それらの取り組みの成果がグローバル化時代にも生かされると考える。つまり、現在の延長線上に、グローバル化に適した小中学校教育があると考える。

コミバス・福祉バスをもっと便利に

【答】きちんと調査・検討し、交通網の整備をすすめる

【質問】

まちづくりを進める上で交通網の整備は、交通弱者といわれる子どもたちやお年寄りにとって大切な課題となっている。コミュニティバスは町の助成のもと、奥山田区と湯屋谷区が共同して運営している。奥山田の川上地域は、国道からかなり



福祉バスをもっと便利に

入る必要があり、坂道となつていことから、バスを入れてほしい、また、運行ダイヤもお昼の時間帯にバスが走っていないことから、医者や買い物に行つたときなどに不便で何とかしてほしいという要望が多く寄せられている。きちんとして対応すべきだが、どのように考えるのか。

また福祉バスの岩山隠谷地域への乗り入れも含め、調査・検討すべきであると思うがどうか。

【答】 弁(行革推進室長)

コミュニティバスはこの間、車両の更新や増便をしてきた。奥山田川上地区への乗り入れは、道



安本 修 議員

等の問題点からむずかしい。

がせまく安全の確保がむずかしいところであるが、お昼の時間帯の運行の件とあわせ、奥山田区・湯屋谷区バス運営委員会で検討していただく。

本町の交通問題の重要性については、議員指摘のとおりであり、福祉バス、コミュニティバス、路線バスが有機的に結びついて、住民にとって便利で利用しやすいものになるよう、引き続き調査・研究に努める。

有害鳥獣被害から

自己防衛するための補助を

【答】 農業関係でも補助する方向で検討する

【質問】

猿、猪、鹿による被害は拡大するばかりで、農家の方々、小作りしている住民のみなさんから「せいがない」との声を

聞いている。鹿の被害も大きく、水田や野菜も荒らされている。被害の実態はどうなのか。この間の対策は、どのようにな

されているのか。

【答】 弁(産業振興課長)

野猿については、奥山田・和束地域に生息する群と、それ以外の群を確

害が出ており、最近では水田の苗の植え付け時や野菜畑に、また猪についても、水田や茶畑に被害をおよぼしている。

被害対策としては、猟友会による有害鳥獣駆除をお願いしている。

【質問】

有害鳥獣の被害から自己防衛するために、林業関係でなされている助成を農業にも拡大すべきと思うが、どう考えるか。

【答】 弁(産業振興課長)

農業でも補助していく方向で検討する。



野猿による被害対策を

やる気満々 12人からのひとことメッセージ

(議席順)



田中 修

「人のことを大事にする人」この信念で常に住民の立場に立ち、議員として、今、何をすべきかよく考え行動し、町の発展につくしたい。



原田 周一

1年生議員として議会・地域のことを勉強中です。新しい風を吹き込むため、一生懸命がんばります。



青山 美義

昨年議員選挙で三選を与えていただき、有難うございます。初心に返り、誠心誠意努めます。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



弦川 孝治

豊かな自然に配慮した道路網の整備促進や、少子高齢化に対する医療や福祉の充実に全力を注ぎ、誠心誠意取り組んでまいります。



今西久美子

住民のみなさんごいっしょに、ふるさと宇治田原の住みよいまちづくりをめざし、みなさんのお役にたてるよう取り組みます。



安本 修

住民の皆さんの声を議会に届け、「行政をチェックする」という議員(議会)本来の役割を果たすために、引き続きがんばります。



森山 高広

新しく町会議員になりました森山高広です。今年、教育の発展とビジネススクール流の改良・改革を目標にします



上林 昌三

日常生活に密着した身近な問題等、特に文教・厚生関係に対して自ら学習し、町の発展と住民の豊かな暮らしを守るため、精一杯働きます。



垣内 秋弘

住民の皆様の声を町政に反映し、「明るく・住みよい・調和の取れた」安心・安全なまちづくりをめざし、行政へのパイプ役として誠心誠意がんばります。



西谷 信夫

日々、報恩感謝の気持ちで皆様の期待にこたえるべく、直面する課題と本町の将来に対し、信念と情熱で取り組み、責務を果たしてまいります。



下岡 周之

昨年の町議選で、再度、議席を与えていただき感謝しています。「明日の宇治田原町を拓く」ため、強い信念をもってがんばる決意です。



森田 木一

昨年の町会議員選挙に当選をさせていただき、感謝申し上げます。住民の皆様のご意見、ご要望の実現に、全力で取り組んでまいります。

うしん



年越手もみ(永谷宗円生家)



出初め式



高尾の伝統行事



インタビュー 新成人に聞く



新成人代表

村上 栄作 さん

『社会が混迷を極める時代だからこそ、若い私たちが明るい未来への新しい道を切り拓いていくことが望まれていて、それを実行できるのが私たち。これからの人生、幾多の試練や混迷があると思うが、「努力」「協力」「友達」この3つを大切にして乗り越えたい。周りの人への感謝を忘れず、「大人」として人に迷惑をかけない責任ある行動で、期待される人間像をめざしがんばる』と成人の言葉を述べた村上栄作さんにインタビューしました。

自分の性格として、何事にも精一杯取り組むことである。中途半端は禁物。

Q 将来の夢は?

A 建設関係のエンジニアになりたいです。(父の仕事とも若干関連はある)

Q ふるさと宇治田原について想いは?

A 自然豊かなのでこのままであってほしい。(大都会はいやです)

Q 自分の信念は?

A 最後まであきらめないで、何かを極める。

Q 理想の人は?

A 有言実行できる人。(言ったことに責任が持てる人)

Q 趣味は?
A 魚釣りとドライブです。魚釣りは若狭湾を中心に海釣りが好きです。

また、ドライブはアメ車で彼女を乗せて走るのが大変良い気分です。

Q 20歳になつてうれし
いことは?
A お酒が飲めるようになってうれしいです…。(あまり強くないが)

Q 好きな言葉は?

A 「極」「一生懸命」といった言葉が好きです。

編 集 後 記

住民のみなさまにはお健やかに新春を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年の世相を表わす漢字は「変」。昨年後半には、アメリカ発金融不安の影響が世界中に広がり、暗いニュースが連日流れていました。今年こそは明るく、すばらしい年になつていくことを願っています。

さて、昨年11月の町議選において、12人の議員が誕生いたしました。住民のみなさまのご期待に応えられるようがんばります。よろしくお願います。(垣内)

- 広報編集委員会
- 委員長 垣内 秋弘
 - 副委員長 田中 修
 - 委員 原田 周一
 - 委員 安本 修
 - 委員 今西久美子
 - 委員 森山 高広